

拝啓 この度は、七月五日に発生しました豪雨災害に際しまして、ご厚情あふれるご支援を賜り、誠にありがとうございます。全国から多大なるご支援や多方面にわたるご協力を賜り、被災された方々はもちろん、災害対応にあたる職員にとっても大変心強いものであり、感謝の念に堪えません。

今回の豪雨災害では多くの方がお亡くなりになり、今なお四名の方が行方不明のままとなっています。市内の広い範囲で道路が寸断され、多くの家屋や田畑が濁流にのまれ、収穫期を迎えた果樹園やハウス施設に土砂が流入するなど、想像を絶する被害が生じました。避難生活も長期化しており、今後は被災者の皆さまへの生活支援と合わせて、地域一丸となって復興にむけた取り組みを加速させていく決意です。

この度のご厚情の対し、略儀ながら書中をもってお礼を申し上げますとともに、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成二十九年十二月

朝倉市長 森田 俊介



久留米有馬ライオンズクラブ 様

御礼

このたびは、九州北部豪雨による東峰村内での甚大な被害に、多大なご厚意をいただき誠にありがとうございます。

東峰村民を代表し心より御礼を申し上げます。

七月五日に発生した九州北部豪雨は、村内の一部で十三時からの八時間に、七〇〇ミリ以上の降水量を記録する本村にとって、史上例のない大豪雨でした。

これにより、家屋流出、道路寸断、田畑への土砂侵入等々、多大な被害が発生し、犠牲者も出るなど本村はじまって以来の悲痛な事態となりました。

災害発生直後は、あまりの被害の大きさに、多くの村民が衝撃をうけ、茫然自失となっております。そんな、暗く沈んだ村民の心を奮い立たせたのは、一重に、ご支援をいただきました皆様の温かい真心でございます。

私をはじめ、多くの村民が、人の心のありがたさを改めて感じ、深く深く感謝申し上げます。

今こそ、私たち東峰村民は、一体となって、美しい故郷の風景、農業、伝統産業を蘇らせるために頑張る時と存じていますし、その事が、ご支援をいただきました皆様の厚意にお応えする最善の道であると、私は強く思っております。

九月下旬には災害復興対策本部を立ち上げました。一日でも早く復興を成し遂げたいと思っております。

すこしお時間はいただきますが、復興が成った暁には、是非、東峰村を訪れていただければ幸いに存じます。

本来であれば、お一人お一人に御礼を申し上げるべきところ、大変恐縮ですが、まずは書中をもちまして、御礼を申し上げます。

平成二十九年十一月

東峰村長

澁谷博昭